

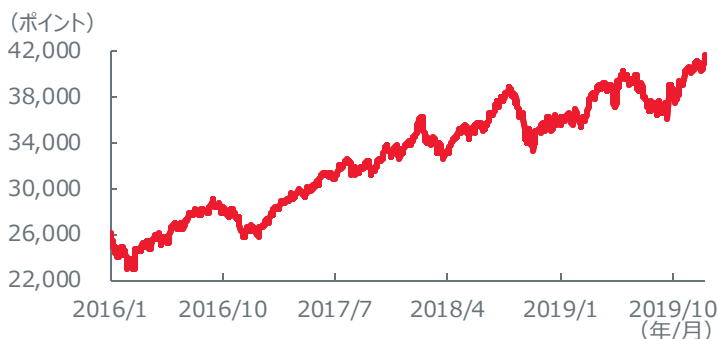
# India Weekly

2019年12月23日



(対象期間：2019/12/16～2019/12/20)

## 【株式市場】 SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2019年12月20日)

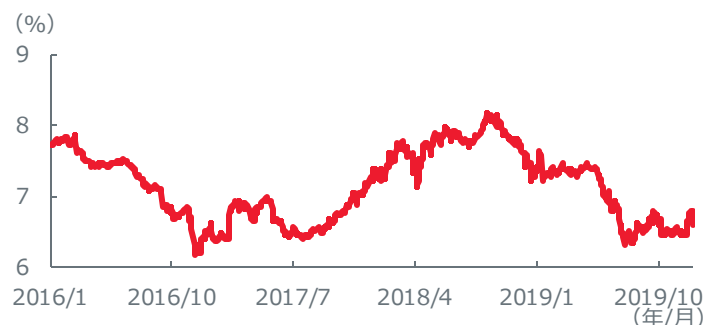


## 【株式市場】

週初は、利益確定売りに押されて小幅下落しました。17日は前週に発表された米中通商協議の「第一段階の合意」が好感され、海外市場が堅調となる中、インド株式市場も大きく上昇しました。その後も良好な投資家心理から、週末にかけて堅調に推移しました。19日に中国が米国からの一部化学品に対する新たな関税免除を発表したことも好感されました。主要株価指数であるSENSEX指数とNIFTY50指数は共に連日で過去最高値を更新しました。

2019/12/13	2019/12/20	変化率
41,009.71	41,681.54	+1.64%

## 【債券市場】 インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年12月20日)



## 【債券市場】

週初は原油価格の上昇を受け、前週に続き10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。17、18日は利回りが魅力的な水準になったとの見方から国債を買う動きが出て、利回りは低下（価格は上昇）しました。19日は、月上旬に開かれた金融政策決定会合の議事録発表前の警戒感から、利回りは上昇しました。20日にはインド準備銀行（中央銀行、RBI）より、オペレーションツイスト\*の翌週実施が発表されて利回りは大きく低下し、週間でも低下しました。

2019/12/13	2019/12/20	変化幅
6.786	6.602	-0.184

## 【為替市場】 インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年12月20日)



## 【為替市場】

原油価格がじりじりと上昇したことが嫌気されてルピーは対米ドルで下落しました。また、円が対米ドルで上昇したことから、対円でも下落となりました。

2019/12/13	2019/12/20	変化率
1.549	1.538	-0.70%

\*中央銀行が公開市場操作において、長期国債の買い（売り）オペと短期国債の売り（買い）オペを同時に行うことで、市場への資金供給量を一定に保ったまま、長短金利を逆の方向に動かす金融政策の手法の一つ。今回RBIは、長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行う見込み。

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。